

事務事業	51	総合型地域スポーツ・文化クラブの育成					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	03	生涯学習、スポーツの条件整備					
事業内容							
目的	子どもから高齢者まで個々の目的やレベルに応じて多様なスポーツ・文化活動に親しめる「総合型地域スポーツ・文化クラブ」を創設し、区民主体の自立したクラブ運営を支援し、地域の活性化を図ります。						
対象・手段	地域の資源である学校を核として総合的な自主クラブ作りを進め、地域のあらゆる人材に参画していただきクラブの育成を図ります。現在区内全10地区(9組織)で運営されている「スポーツ交流推進委員会」への支援を行い、学校開放のあり方を検討する中で、新宿区版総合型地域スポーツ・文化クラブを育成します。						
成果(事業が意図する成果)							
区民が自主的・主体的に活動できる総合型地域スポーツ・文化クラブを支援することによって、地域の自治能力を高め、共に支え合う区民との協働による地域社会づくりに寄与します。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
新宿区版総合型地域スポーツ・文化クラブの運営		学校を拠点としたクラブ運営を一元的に管理できる組織数			(平成19)年度に (1組織)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
事業成果指標	目標値1	組織	0.00	1.00	1.00	1.00	西早稲田中学校・新宿中学校については、新校開校を契機に、地域スポーツ・文化協議会と学校施設開放運営委員会及び町会・育成会が参画する組織を立ち上げ、区が目指す地域の総合力を結集したクラブ化への土台を構築しました。
	実績1	組織	0.00	0.00	0.00	0.50	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	50.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	スポーツ交流会の実施(10地区9組織)						
平成19年度	従前行っていた、スポーツ交流会(10地区9組織)・小学校校庭開放(小学校29校)・子どもの居場所づくり(小・中学校40校)の各事業の予算と組織を統合し、新たに設立した「地域スポーツ・文化協議会」が実施する「地域スポーツ・文化事業」として、各小・中学校を中心に毎月4回程度実施しました。						

部名称		地域文化部		課名称		生涯学習コミュニティ課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	2,927	2,958	3,661	30,197	スポーツ交流会 (8,745千円) 小学校校庭開放 (14,253千円) 子どもの居場所づくり (7,199千円)
	人件費	千円	8,338	8,338	8,280	8,260	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	11,265	11,296	11,941	38,457	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	11,265	11,296	11,941	38,457	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	11,265	11,296	11,941	38,457	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>区民の自主的・主体的な活動による自立したクラブ運営を実現するため、活動の拠点となる場、人材の確保が必要です。地域の総合力を結集した「総合型クラブ」へと育て、事業の有効性を高めていくためには、拠点となる学校施設の整備や運営に係る人材をさらに確保しなければならないため、学校施設開放事業や地域の関連組織等との連携・融合・統合が求められています。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	スポーツ交流会・小学校校庭開放・子どもの居場所づくりの各事業の予算を統合し、一部の学校ではありますが、地域スポーツ・文化協議会、学校開放運営委員会、町会・育成会等との連携・融合が進みつつあります。				
	実施の成果	3	スポーツや文化活動を通して、地域の子どもの健全育成や世代を超えた地域の様々な人たちが交流し、コミュニティーの形成に寄与できました。従って、生涯学習・コミュニティ行政の本来の目的の実現に向けて、成果があったと言えます。				
	効率性	2	3事業を統合し、各中学校区に地域スポーツ・文化協議会を立ち上げ、各小・中学校を中心に毎月4回程度、地域スポーツ・文化事業を企画・実施するなど、効率的に行われています。				
	行政の関与	3	区は3事業を統合し、事行間の人材交流及び予算の有効活用を図り、地域の総合力を結集したクラブ化への土台を構築しました。今後、自立したクラブ運営が可能となるまでは、財政的にも人的にもクラブの育成支援が必要であり、区の関与は不可欠です。				
	妥当性	3	学校や地域センター等を有効利用し、スポーツや文化活動を通じて、地域の人材開発、子どもの健全育成、世代間交流等を図る総合型地域スポーツ・文化クラブの果たす役割は極めて大きいものと考えます。				
	施策寄与度	3	この3年間でスポーツ交流会事業から類似3事業を統合し地域スポーツ・文化事業へと発展させ、区が目指す地域の総合力を結集したクラブ化への土台を構築しました。総合すると施策目的達成に寄与していると言えます。				
総合評価	19年度は、概ね計画どおりに事業が推進できたため、Bと評価します。西早稲田中学校と新宿中学校の新校開校を契機に地域スポーツ・文化協議会・学校施設開放運営委員会・町会・育成会等との連携が深まるなど学校を拠点としたクラブ運営の足がかりができました。						B 過年度評価
	また、過去3年間の実績でも、Bと評価します。総合型クラブの拠点整備のために、17年度・18年度は個別に実施していた「スポーツ交流会」「小学校校庭開放」「子どもの居場所づくり」の事業を19年度は統合して、事業間の人材交流及び予算の有効活用を図り、区が目指す地域の総合力を結集したクラブ化の土台が構築できたからです。						
改革方針							方向性
	<p>今後は学校施設開放事業関係者や町会・自治会・育成会等との連携を深めるため、協議の場を設けていきます。</p> <p>この事業は、地域の総合力を結集した組織へと発展させていく必要があるため、第一次実行計画「21 総合型地域スポーツ・文化クラブの設立・活動支援」に引き継いで取り組んでいきます。</p>						2 手段改善